

国立市都市景観形成基本計画改訂（素案）のパブリックコメント実施結果について

平成29年度より改訂作業を行ってまいりました、「国立市都市景観形成基本計画」について、改訂（素案）がまとまりましたので、市民の皆様からのご意見を募集しました。募集結果がまとまりましたのでご報告いたします。

- 1．閲覧資料：国立市都市景観形成基本計画改訂（素案）
- 2．閲覧場所：市役所3階都市計画課窓口
市役所1階情報公開コーナー
北市民プラザ
南市民プラザ
国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
- 3．実施期間：令和元年12月20日（金）から令和2年1月15日（水）
- 4．意見者数：1名（持参0名、郵送0名、ファックス0名、Eメール1名）
- 5．意見数：3件
- 6．結果一覧：下記の通り

番号	日付	区分	意見の概要	市の考え	計画への反映の可否
1	1/15	全体事項	・市民、事業者、行政等のそれぞれが、基本計画を定める目的を理解することが大事である。	景観は、公的な道路や建物のみならず民間の敷地や建物も重要な構成要素です。そのため、景観づくりは行政のみでは限界があり、市民や事業者等の協力が不可欠となります。本計画においては、それぞれの役割を記載するとともに、関係者との連携・協働について、必要に応じ記載をさせていただいております。	否
2	1/15	全体事項	・4月に駅舎が完成することで、国立駅、国立市への注目が集まることも予想されるが、こうした建物、景観を整えるだけでは魅力ある街づくりとしては不十分であり、景観を含め、国立市の魅力は何であるかを追求し、アピールしていくべきである。	第一章で国立らしさを特徴づける景観資源を多数記載するとともに、第二章以降でそれらを活かした景観づくりの方針や取り組みを記載しております。また、計画書の冊子自体も皆様に気軽にとっていただけるようなものを目指し、国立の景観の魅力を広く伝えていきたいと考えております。	否
3	1/15	全体事項	・国立市としての街づくりの独自性の追求、そのための民間事業者の活用という視点が大事であり、そのような内容がもっと盛り込まれたほうがよい。	国立は3つの崖線や段丘および生い立ちの違ういくつかの地域からなりたっており、それらが国立の景観の特徴であるといえます。そのため、これらの国立らしさを特徴づける景観資源やそれらを活かした景観づくりが重要であると考えており、計画内でもその実現方法として景観重要資源や重点地区の指定等により目指すことを記載しております。民間事業者の活用に関しましては、様々なものがあるかと思いますが、必要に応じ関係者と協議をしながら取り組んでいきたいと考えております。	否